

「支援籍学習ってなあに」

深谷はばたき特別支援学校

1. 支援籍学習とは

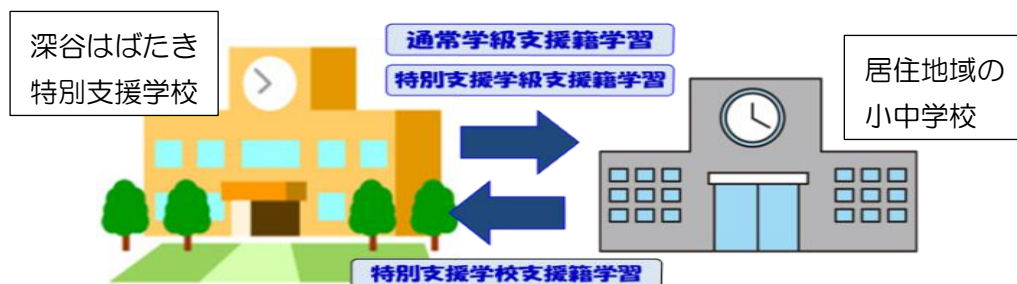
「支援籍」とは、障害のある児童生徒が必要な学習活動を行うために、在籍する学校または学級以外に置く埼玉県独自の学籍です。

本校に転入学してくる児童生徒は、地域の幼稚園・保育園や小学校で、障害のない幼児児童と共に学んできています。この関係を大切にし、「連続性のある共に学ぶ場」としての支援籍学習を可能な限り進めていきます。

また、地域の特別支援教育のセンター的機能の一環として、地域の小中学校で学ぶ児童生徒に対して、個々の実態や特性に応じ、本校の資源を活用してさらに専門的な学習や集団での学びを保障する「学びの場」の提供もします。

インクルーシブ教育システムの構築と共生社会の実現に向けて、支援籍学習は大切な取組みになっています。

2. 本校で行なわれている支援籍学習



通常学級・特別支援学級支援籍

居住する小中学校の通常学級で学習を行ないます。

間接的な支援籍

小中学校に直接に行かず、個人の通信やお手紙、ビデオレター等で交流します。

特別支援学校支援籍

地域の小中学校の児童生徒が本校に来て、学習をします。

小学校の入学式



小学校の体育



小学校の図工



中学校の給食



3. 支援籍Q&A

Q1 支援籍校まではどうやって行くのですか？

A 保護者が送迎をします。

Q2 支援籍学習には、保護者の付き添いが必要ですか？担任の先生が付き添ってくれるのですか？また、支援籍学習の参観はできますか？

A 基本的には担任が付き添います。また、保護者の参観の希望があれば、支援籍校の先生と話し合っ、参観ができるように計画します。

Q3 どんな授業に参加しているのですか？

A 児童生徒の興味のあることや好きなことを、担任間で相談し参加しやすい授業を考え、「年間の計画」をたてます。慣れない場合は、登校から朝の会までというケースもあります。慣れてきたら、例えば、好きな体育の授業で、本校で取り組んでいる指導内容も取り入れながら活動をするなど工夫をしています。
また通常学級にはなかなか入っていけないお子さんには、通常学級の前段階として、特別支援学級で支援籍学習を行うことがあります。

Q4 年間何回ぐらい支援籍を実施するのですか？

A 「支援籍学習年間計画」に沿って実施します。回数の上限等は決めていませんが、学期に1~2回程度（年間3回~4回）実施している児童生徒が多いです。

Q5 支援籍学習の実施時間はどのくらいですか？

A 支援籍校と相談をして決めていきます。支援籍学習の時間によっては、本校に登校後、支援籍学習に行くケースや支援籍学習が終わって本校で学習するケースもあります。

4. 児童生徒感想（支援籍通信より）

- * 『はらぺこあおむし』の音楽に合わせてみんなもいっしょにうたってくれてとても楽しかったよ。（小2 音楽）
- * 朝のマラソンに さんかしました。みんなが おうえんしてくれたので がんばって たくさん 走ることができました。（小3 体育）
- * みんなで作ったご飯とおみそしるおいしくいただきました。後かたづけもていねいに取り組みました。（小5 家庭科）
- * 5年1組のみなさん、ゲームやプレゼントをありがとうございました。また、たくさん声をかけてくれてありがとうございました。小学校生活も残り1年。お互いに楽しい思い出をたくさん作りましょう。街で見かけたら声をかけてくださいね。（小5 特別活動）
- * 6年1組のみんなと会えてとてもうれしかったです。体育のバスケットボールでは、たくさんパスをしてくれてありがとう。思い切りプレーすることができました。シュートが決まったときに、ハイタッチをしてくれたのがとてもうれしかったです。給食や掃除では、配膳のやり方や机の運び方など、ていねいに教えてくれてありがとう。次に会えるのは3学期です。またみなさんに会えるのを楽しみにしています。（小6 体育）
- * 私は、3年間支援籍学習をさせていただいて、はばたきとは内容が違う授業に参加ができて、とてもよい経験ができました。3年間ありがとうございました。これからも、地域で会った時などは、声をかけてくれたらとてもうれしいです。（中3）